＜講評＞

カチケン 北九州革新的価値創造研究会 Kitakyushu innovative value creation consortium	北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 情報工学専攻 (コンピュータシステムコース) 山田 麻里衣　殿

- 略称が呼びやすく、デザインも硬すぎないので、誰もが親しみを感じやすい。
- 「パズルのピースがカチッとはまるように」という例えやＴシャツや展示用ボードへの展開も考慮されている点が良かった。
- 明解。分かりやすい。広い市民層に訴えることができる簡潔なロゴマークとなっている。
- 「カチケン」の意味が分かりやすく、使いやすい。
- ヨーゼフ・シュンペーター(オーストリア・ハンガリー帝国の経済学者)の「新結合(企業者の行う不断の革新が経済を変動させるという理論)」をズバリ表現している。無から何か新しいものが生まれるのではなく、異業種・異文化の企業がつながる価値もイメージできる。
- スッキリとしたデザインでコンセプトが良く表現されている。
- 美的感覚と独創性に優れている。また、デザインコンセプトも良く考えられている。活用においても展示用ボードやＴシャツまでの展開を具体的にイメージしている点も高く評価できる。略称も非常に呼びやすい。

○ 面白い。略称を日本語から「カチケン」としたことも分かりやすく、グレースケール等の展開を提案していることは評価に値する。デザイン的な完成度はもう少し検討が必要。モノクロ２階調がないのは残念。

平成２９年１０月１０日

北九州革新的価値創造研究会